

基本情報

科目分類	総合教養科目	開講年次	1・2・3・4年
時間割コード	4U104	開講区分	第4クォーター
開講科目名	E S D論（持続可能な社会づくり2）B	曜日・時限	水5
主担当教員	清野 未恵子	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	U1BB100

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目) (社会教育主事資格科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことで、ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■授業の到達目標</p> <p>ESD論Bでは、ESD論Aをふまえて、ESDの世界に触れ、SDを探究する面白さを感じながら、理想を追うことの楽しさや専門を総合化することの大切さをグループワークを通して主体的に学んでもらいます。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■授業の概要と計画</p> <p>SDGsの総合化を目指す（ポスト・ウィズコロナ社会のフィールドワークをイメージする）</p> <p>【授業の進め方（予定）】</p> <p>1回 12/1 地域開発と自然環境 2回 12/8 ESDの地域拠点（RCE） 3回 12/15 1,2回の授業をふまえたリフレクション 4回 12/22 ESDの学習プラットフォーム 5回 1/12 商店街の地域づくり 6回 1/19 4,5回の授業をふまえたリフレクション 7/8回 1/26 総合リフレクション</p>
<p>■成績評価方法</p> <p>授業後のリフレクションシートと最終レポートなどを総合的に判断します。</p> <p>成績は90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とする。</p>
<p>■成績評価基準</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・SDを探究する意義を意識化できている。 ・ESDと実践との関連において、専門を総合化することの大切さを理解できている。
<p>■履修上の注意（関連科目情報）</p>
<p>ESD論A（3Q）またはESD生涯学習論A（3Q）のいずれかを履修しておくこと。</p> <p>また、ESDコース基礎科目群の「ESD基礎（2Q）」または「ESDボランティア論（2Q）」を履修していることが望ましい。</p>
<p>■事前・事後学修</p>
<p>授業中に指示する。</p>
<p>■学生へのメッセージ</p>
<p>ESDプラクティショナーについては、人間発達環境学研究科のホームページにある「神戸大学ESDコース」を参照のこと。</p> <p>http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd</p>
<p>■教科書</p>
<p>特に指定しないが、ESD論Aをふまえて考えたことをベースに、関連するESDやSDGsの書籍を探して読んでみてください。</p>
<p>■参考書・参考資料等</p>
<p>適宜、指示する。</p>
<p>■授業における使用言語</p>
<p>日本語</p>
<p>■キーワード</p>
<p>ESD サステナビリティ 環境・経済・社会・福祉・人権・平和の葛藤・矛盾</p>
<p>■参考URL</p>
<p>http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd http://esd-tourprogram.org/esd/events/ https://web.pref.hyogo.lg.jp/awk10/documents/kaibori.pdf</p>

担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科